

教育委員会会議録（12月定例会）

<u>日 時</u>	平成27年12月24日（木） 午後3時00分から午後4時10分まで	
<u>場 所</u>	教育プラザ ギャラリーB室	
<u>出席委員</u>	委員長 委員長職務代行者 委 員 委 員 教育長	森嶋 鎮一郎 上村 由美 花田 和郎 伊藤 吾子 中山 俊恵
<u>委員以外の出席者</u>	教育部長 総務課長 学校施設課長 学務課長 生涯学習課長 スポーツ振興課長 スポーツ振興課課長 新体育館建設課長 指導課長 郷土博物館副参事 記念図書館長(兼)視聴覚センター所長 教育研究所長 宮田調理場長 総務課課長補佐(兼)庶務係長 総務課課長補佐(兼)計画財務係長 総務課係長(企画員) 総務課主幹 総務課主事	吉成 日出男 清水 透 関根 博之 内山 信弘 佐川 勝宣 住谷 玲 吉田 和則 千葉 忠好 川崎 恭子 清水 博之 鈴木 士郎 大沢 靖司 川崎 浩行 中村 大介 酒地 康彦 下村 彰彦 鈴木 由紀恵 宇佐美 亮

議 事

1 報 告

報告第12号 教育委員会11月定例会の会議録について

2 議 案

議案第47号 専決処分について（日立市いじめ調査委員会委員の任命について）

議案第48号 専決処分について（平成28年度に使用する日立特別支援学校中部用教科用図書採択変更について）

3 その他

(1) 平成27年第4回市議会定例会について

(2) 平成27年度日立市優秀教職員等褒賞事業の被褒賞者について

(3) 第62回日立市教育論文の応募状況及び審査結果について

(4) 児童生徒の状況（いじめ・不登校）について

(5) その他

(6) 次回の教育委員会の日程について

会 議 の 概 要

1 開 会

午後3時00分

委 員 長

それでは、只今から12月の教育委員会定例会を開催します。
本日は、傍聴希望者が2名おります。
傍聴を認めてよろしいでしょうか。

全 委 員

結構です。

(傍聴人入室)

2 報 告

報 告 第 1 2 号

教育委員会11月定例会の会議録について

委 員 長

それでは、まず、報告第12号について御意見を伺います。
いかがでしょうか。

全 委 員

特にありません。

(本件については原案どおり承認されました。)

3 議 事

議 案 第 4 7 号

専決処分について（日立市いじめ調査委員会委員の任命について）

委 員 長

それでは次に議事に移ります。
議案第47号について、指導課長から説明をお願いします。

指 導 課 長

日立市いじめ調査委員会委員の任命について、特に緊急を要するため教育委員会を開催する時間的余裕がないことが明らかであったため、教育長に対する事務委任規則第3条第1項の規定に基づき専決処分しましたので、同条第2項の規定に基づきこれを報告し、承認を求めるものです。

日立市職員の平成27年12月1日付け人事異動に伴い、子ども

福祉課長が変更となったことから、新たに委員を任命しました。

任期は、残任期間である平成27年12月1日から平成28年10月31日までです。

(本件については原案どおり承認されました。)

議案第48号 専決処分について(平成28年度に使用する日立特別支援学校中学部用教科用図書の採択変更について)

委員長 次に、議案第48号について、指導課長から説明をお願いします。

指導課長 平成28年度に使用する日立特別支援学校中学部用教科用図書の採択変更について、特に緊急を要するため教育委員会を開催する時間的余裕がないことが明らかであったため、教育長に対する事務委任規則第3条第1項の規定に基づき専決処分しましたので、同条第2項の規定に基づきこれを報告し、承認を求めるものです。

平成28年度に使用する日立特別支援学校中学部用教科用図書については、1学年が「かいかたそだてかたずかん4 やさいのうえかたそだてかた」、2学年が「かいかたそだてかたずかん11 海の生き物かいかたそだてかた」、3学年が「かいかたそだてかたずかん5 草花のうえかたそだてかた」を採択していましたが、2学年及び3学年の図書について、出版社から在庫不足により平成28年度の供給に応じられない旨の申出があったことから、採択の変更を行いました。

採択を変更したことにより、2学年及び3学年は、これまでどおり、1学年で使用する図書と同じものを使用することとなります。

(本件については原案どおり承認されました。)

4 そ の 他

(1) 平成27年第4回市議会定例会について

委員長 続きまして、その他に移らせていただきます。
その他(1)について、教育部長から説明をお願いします。

教育部長 平成27年第4回市議会定例会について、説明します。
会期は、平成27年12月3日から12月17日までの15日間でした。

始めに、一般質問についてです。

教育委員会関係については、3名の議員から質問がありました。

1人目は塚田 明人議員で、大きく分けて2項目の質問がありました。

まず、文化振興策について2点の質問があり、1点目としては、市民主体の特色ある文化・芸術活動の保存と支援についてということで、各学校の授業で文化・芸術を学ぶ機会を設ける取組などについての質問がありました。

これに対しては、「アートいっぱい夢いっぱい・アート体験事業」、日立風流物の「操り人形操作体験」など、ワークショップ型授業、子どもたちの参加体験型学習の取組状況について説明するとともに、今後、ワークショップ型授業の充実を始め、関係者の皆様と連携を図り、様々な取組を子どもたちに提供することで、特色ある文化・芸能活動の伝承に積極的に努める旨を答えました。

2点目は、新たな文化財の掘り起こしについてということで、市民文化遺産の管理・保護について、それから、「日立理科クラブ」や「ひたち生き生き百年塾」などの教育資産リスト登録制度の導入について、質問がありました。

まず、市民文化遺産の管理・保護についての質問は、平成26年度に市内104箇所を選定・登録した「日立市民文化遺産」を、指定文化財に指定することはできないかというものですが、これについては、登録した市民文化遺産の歴史的・学術的価値の有無等について、法の規定に基づき、更に詳細な調査を行う必要がありますので、検討していきたい旨を答えました。

教育資産リスト登録制度の導入については、「日立理科クラブ」や「ひたち生き生き百年塾」などの先駆的な取組について、市民文化遺産と同様に、登録制度を活用してはどうかというものですが、本市の特色を生かした教育活動を継承するとともに、市内外に発信していく上で、新たな視点での取組であると考えますので、今後の研究課題としたい旨を答えました。

次に、いきいき茨城ゆめ国体について、3点の質問がありました。

1点目は、国体の開催に向けた準備組織と庁内の横断的な組織体制についてです。

これに対しては、これまでの組織体制の状況や、今後、日立市準備委員会を設立し、国体の正式開催が決定したのち、これを日立市実行委員会に移行し、円滑な大会運営に向けた取組を進めていくことを説明するとともに、庁内の推進体制についても、職員が一丸となって取り組む必要があると考えており、関係部局による機動性のある体制づくりを検討していく旨を答えました。

2点目は、国体開催時の駐車場の確保と安全対策（ペDESTリアンデッキの設置）についてです。

これに対しては、国体の開催により、多くの来訪者が見込まれるため、現在、駐車台数を増やすための整備を進めているところですが、駐車場利用の見込み数については、直近の開催県の実績や県による輸送調査結果などを踏まえながら、駐車台数の把握に努めていく旨を答えました。

また、ペDESTリアンデッキについては、費用対効果や設置後の維持管理及び財源の確保等の観点から、現状での設置は難しいと考えているものの、市道交差点をスクランブル交差点にすることや、運動公園全体の動線及びイベント時における利用者の安全確保について、関係機関等から意見を伺いながら検討していく旨を答えました。

3点目は、おもてなしについて、2つの質問がありました。

まず、気運の醸成について質問があり、これに対しては、国体の開催に当たり、市内外に向けて積極的に情報を発信し、市民意識の高揚を図ることが必要であり、そのために、今後設立予定の準備委員会において、各種情報媒体や横断幕などの活用について広報計画の中に位置付けていくとともに、市民の皆様方からアイデアを募るなど、市民参加による広報活動についても、準備委員会において検討する旨を答えました。

次に、市民ボランティアによるおもてなしについて質問があり、これに対しては、45年ぶりの開催となる今回の国体を成功させるためには、市民の皆様を始めとして、企業や関係団体等からの支援・協力が必要不可欠であるため、ボランティアとして参加いただける皆様方との連携を図りながら、日立市が会場で良かったと思われるような、心のこもったおもてなしを提供できる体制づくりについて検討していく旨を答えました。

続いて、2人目の伊藤 健也議員からは、特別支援学校について、2点の質問がありました。

1点目は、エアコンの増設についてということで、特別支援学校におけるエアコンの設置状況及び全教室設置に向けた考え方について質問がありました。

これに対しては、現在、普通教室26室のうち、19室にエアコンを設置し、エアコンのない教室についても、天井取付型の扇風機を各教室に4台ずつ設置して、夏の暑さ対策を図っている状況を説明した上で、特別な支援を要する子どもたちにとって、良好な学習環境と生活環境を確保することは不可欠なことであることから、今後、エアコンのない教室への増設は、特定財源の確保などの課題を克服し、積極的に努めていく旨を答えました。

2点目は、今後の特別支援学校の施設整備の在り方について、質問がありました。

これに対しては、これまでの施設整備の状況などを説明した上

で、今後の大規模な施設整備については、「日立市公共施設マネジメント基本方針」の中で定めている方向性を踏まえ、どのような対応が望ましいのかを慎重に検討する旨を説明するとともに、子どもたちや支援員も含めた教職員一人一人が、安全で快適に学校生活を送るために必要な修繕については、適切かつ迅速に取り組んでいく旨を答えました。

次に、3人目の下山田 幹子議員からは、大きく分けて2項目の質問がありました。

まず、福祉施策についてということで、いわゆる大活字本について、市立図書館の蔵書冊数と貸出状況や、PRの拡大と蔵書拡充を図ることについて、質問がありました。

これに対しては、市立図書館4館における大活字本の蔵書数は、現在、合計で3,790冊であり、貸出状況については、主に高齢者の利用が多いことを説明の上、今後は、図書館内に大活字本のコーナーを設け、大活字本を展示するとともに、蔵書リストを備えるなど、大活字本のPRに積極的に取り組んでいき、また、新刊本を多数備えながら、大活字本の蔵書の充実にも努めていく旨を答えました。

次に、教育施策について、2点の質問がありました。

1点目は、児童生徒のSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）利用についてということで、利用状況と、ネットトラブル防止の啓発活動の現状と今後の取組について、質問がありました。

これに対しては、平成25年度の茨城県教育委員会の調査によると、携帯電話やスマートフォンを所持する中学生の半数以上がLINEを利用しており、今後、児童生徒のSNSの利用は更に増えるものと考えていることを説明した上で、携帯電話やスマートフォンの安全な利用方法について、道徳や特別活動の授業において、情報モラルや人権教育の視点で指導を行なっている状況や、関係団体の協力を得て、地域ぐるみの取組を進めていること、そして、今後も学校や関係団体との連携を更に深めるとともに、児童生徒が正しく安全に利用できるよう、各種取組を進めていく旨を答えました。

2点目は、ひたち郷土かるたの活用についてということで、学校現場における活用状況と、積極的な活用策についての質問がありました。

これに対しては、小学校1、2年生の生活科においては、「昔あそび」を知り、体験する教材として、また、小学校3、4年生の社会科においては、郷土日立を学び、ふるさとを理解する教材として活用しており、また、クラブ活動で活用している学校や、休み時間に気軽にかかるた遊びを行う子どもたちの姿を見かける学校も多いなど、学校生活に浸透している状況を説明した上で、活用策として議員から提案があった学校におけるかるた大会については、現在、

中小路小学校と山部小学校で行っているため、そのような先行的な取組事例と効果などを各学校に紹介する等により、積極的な活用の促進に努めていく旨を答えました。

続いて、教育福祉委員会についてです。

まず、現地調査として、池の川総合公園駐車場と、運動公園新中央体育館（池の川さくらアリーナ）を見ていただきました。

次に、議案審査ということで、平成27年度日立市一般会計補正予算の教育委員会所管部分について、日立市市民広場等の設置及び管理条例の一部を改正する条例の制定について、運動公園外構（土木）工事の請負契約の締結について、そして、市民運動公園の指定管理者の指定について、審議していただきました。

最後に、請願等については、私学の保護者負担軽減と教育条件改善のための陳情があり、全会一致で採択されました。

委員 教育資産リスト登録制度についての質問がありましたが、登録することにより、こういったメリットがありますか。

教育部長 議員からは、日立市では先駆的な取組を行っている事業が多くあるため、このような制度を導入することで、そういった事業を市内外にPRでき、より良い教育が図れるのではないかとということで、質問があったものです。

これまで、資産としては、歴史的又は文化的に貴重なものについてのみを想定していましたので、新たな発想として、今後、検証していきたいと考えているところです。

委員 子どもたちのネットトラブルが全国的な問題となっていますが、大学生の状況や対策は、どのようになっているのでしょうか。

委員 学生は、フェイスブックなどに掲載する写真や動画に関するトラブルが多くあります。

大学内にも相談できる体制はありますが、事案が深刻である場合には、学生が直接警察に相談して、学校には事後に報告があるケースが多いようです。

委員 大学生ですらそういったトラブルがあるということは、小・中学生はさらに大きな問題になっていくのではないかと思います。

それに対して、どちらかと言うと、対策する学校の先生や親よりも子どもたちの方がネットに関する知識を持っています。

すぐに解決策を見つけられるわけではないと思いますが、教育委員会が中心となって検討を重ねていかないと、後手に回ってしまうおそれがありますので、十分に検討していただくようお願いしま

す。

- 教育研究所長** 対策の一環として、今年度の夏休みに、SNSの対応について、教職員を対象とした研修会を実施しました。
研修は、県消費生活センター啓発員の方に講師をお願いし、具体的な事例を示していただきながら、SNSの使い方や危険性などについて講話をいただきました。
- 指導課長** 子どもたちや保護者に対しては、多くの学校で、親子学習会において情報モラルについての研修を行っています。
研修では、ネットの使い方によっては犯罪になる場合もあることなどを示し、トラブル防止に努めています。
また、モラル教育として、子どもたちが自分で考えて話し合うような道徳の授業を実施しています。
しかし、ネットを利用したいじめの方法は一定ではなく、委員の御指摘のとおり、対策が後手に回ってしまうおそれがありますので、今後もネットパトロール等について検討していきたいと思ます。
- 委員** 今後も携帯電話やスマートフォンの所持率は増加していくと思いますので、関係機関とよく連携しながら、対策の検討をお願いします。
- 委員** 子どもたちには、学校に携帯電話やスマートフォンを持ってこないように指導しているのですか。
- 指導課長** 基本的に持ってきてはいけないこととしています。
ただし、家が遠方にあるため、親の送り迎えが必要であるなど、事情により携帯電話等が必要な場合に認めることはありますが、その場合でも、授業中は教員に電話を預けるなど、使用させないようにしています。
- 委員** 通常、子どもたちは自宅に帰ってから携帯電話等を使っているということですか。
- 指導課長** そのとおりです。
問題は、特にスマートフォンについて、それを利用してできることが膨大にあるため、保護者の方がどこまで利用制限をかけるかの判断が難しいということです。
手軽にできるゲームなどにより、生活習慣の乱れを引き起こしてしまうこともあります。

(2) 平成27年度日立市優秀教職員等褒賞事業の被褒賞者について

委員長 それでは次に、その他(2)について、学務課長から説明をお願いします。

指導課長 平成27年度日立市優秀教職員等褒賞事業の被褒賞者について、説明します。

この事業は、本市教育の振興発展に寄与した学校又は教職員を褒賞することにより、教職員の勤務意欲を向上させるとともに、先進的な実践の共有化を図り、もって本市教育の振興・発展を図るため、実施しているものです。

対象は、市立小学校、中学校、特別支援学校及び幼稚園、そして、そこに勤務する職員です。

まず、学校の部の褒賞についてです。

今年度は、幼稚園を含めて10校(園)を褒賞します。

褒賞理由についてですが、まず、会瀬幼稚園は、地域や人と関わる保育を通して、豊かな心を育む取組を行っているためです。

宮田小学校は、茨城県教育委員会学校給食研究推進校の指定を受け、家庭・地域との連携を図りながら、食育に関する研究と実践を行ったためです。

河原子小学校は、「基礎・基本の定着と確かな学力を育む教育」を推進し、先行的な取組を実践しており、その取組が、茨城県教育委員会HPに、成果の見られた学力向上の取組事例として掲載されたためです。

大久保中学校は、環境美化活動への取組が認められ、平成27年度環境保全茨城県民会議褒賞や、小平記念教育資金贈呈の対象となったためです。

河原子中学校は、読書活動に積極的に取り組み、みんなに進めたい一冊の本推進事業において、30冊達成者が41.4%と、市内1位の達成率であるためです。

会瀬小学校、大沼小学校、河原子中学校、多賀中学校、滑川小学校の5校は、子どもたちの体力づくりに熱心に取り組み、平成27年度茨城県体力づくりの表彰を受けたためです。

次に、教職員の部の褒賞についてです。

今年度は、8名の方を褒賞します。

褒賞理由についてですが、まず、大久保小学校養護教諭の須藤 妙美さんは、保健室の教育相談的な機能を生かした取組により、本校の不登校児童の解消に大きく貢献したためです。

大久保小学校用務員の海野 友之さんは、校舎内外の維持・管理

及び補修・修繕に努め、安全安心できれいな学校づくりに大きく貢献したためです。

大沼小学校教諭の小林 宏美さんは、道徳教育について先行研究に熱心に取り組み、教員の資質向上に力を注いでいるためです。

滑川中学校用務員の大川 晃夫さんは、学校の環境整備に創意工夫して取り組み、教育活動の効果的な推進に貢献したためです。

滑川中学校図書事務員田所 光代さんは、読書環境整備や図書室経営を通して教育活動の効果的な推進に貢献したためです。

滑川中学校事務員の村山 利佳さんは、予算執行や備品の管理を通して教育活動の効果的な推進に貢献したためです。

河原子中学校教諭の古田 雄飛さんは、生徒の体力向上に努め、その成果が文科省の平成26年度全国体力・運動能力・運動習慣調査報告書に掲載されるなど、3年間の取組で素晴らしい実績を残したためです。

日立特別支援学校教諭の内田 義人さんは、本校教員及び市内小中学校教員の特別支援教育における専門性向上に大きく貢献したためです。

(3) 第62回日立市教育論文の応募状況及び審査結果について

委員長 それでは次に、その他(3)について、指導課長から説明をお願いします。

指導課長 第62回日立市教育論文の応募状況及び審査結果について、説明します。

今年度は19編の応募があり、昨年度の17編に対し、2編増えました。また、昨年度に引き続き、幼稚園からの応募も1編あり、教科領域、年齢等も含めてバランスの良い応募となりました。

次に、入賞論文についてです。

最優秀賞は、金沢小学校の武石 弘之先生による、小学校3年生の授業を通して、社会的事象に対する関心を高め、事象のかかわりについて考えることができる社会科学習の在り方について示した論文です。

優秀賞は2編で、滑川中学校の小澤 理江先生外30名の方による学習指導に関する論文と、楡形小学校の渡部 恵美先生、石川 仁美先生による学校図書館教育に関する論文です。

優良賞は6編で、台原中学校の田丸 甫先生、河原子中学校の三國 裕一郎先生、久慈中学校の大津 正一先生、大沼小学校の小林 宏美先生、大沼小学校の岩下 亜由美先生、河原子中学校の古田 雄飛先生による論文です。

数年前に論文の募集時期を11月としてからは、応募数が20編前後とあまり多くありませんが、教員としての資質向上、そして子どもたちのためにも、積極的な応募を呼び掛けていきたいと考えています。

委員 これまで、応募数が多いときは、どれくらいの応募があったのですか。

指導課長 平成22年度の36編、23年度の35編がピークで、その後、減少しています。

現在、教育委員会や教育研究会において、応募者数を増やすための方策を検討しているところです。

(4) 児童生徒の状況（いじめ・不登校）について

委員長 それでは次に、その他（4）について、指導課長から説明をお願いします。

指導課長 児童生徒のいじめ・不登校の状況について、説明します。

まず、いじめの現状についてです。

平成27年11月末までに学校から報告があったいじめの延べ数は、小学校30件、中学校37件で、いじめの態様としては、冷やかしが25件、言葉によるいじめが14件と多く、それ以外には、物を隠す、仲間外れにする、暴力、SNSによるものなどがあります。

なお、SNSによるいじめ4件は、いずれも中学校から報告されたもので、その内容は、LINE等への悪口の書き込み、写真投稿によるものです。

報告があった67件のうち、63件については既に解消していますが、残りの4件については、指導を行った上で経過を観察しています。

傾向としては、中学生の認知件数が多く、また、7月に岩手県で起きたいじめの事件を踏まえて、軽微なものも積極的に報告するよう呼びかけたことで、10月、11月は小学校低学年の報告も増加しました。

対策としては、「日立市いじめ防止基本方針」及び各校が策定した「学校いじめ防止基本方針」を周知し、学校、家庭、地域の共通理解を図るとともに、QUアンケートの活用に関する研修の実施や、関係機関との連絡相談が十分に機能するよう継続した呼びかけを実施しています。

次に、不登校の現状についてです。

平成27年11月末現在の不登校児童生徒数は、小学校が19人、中学校が116人で、前年同月と比較すると、中学校は同数ですが、小学校は6件減少しています。

1か月間の全日を欠席した児童生徒の数は、小学校は3件と、昨年に比べ1件減少しましたが、中学校は34件と、8件増加しています。

ただし、全日欠席した児童生徒に対しても、訪問等により必ず月に数回は面会をしています。

また、不登校は、11月末までに小学校6件、中学校25件が解消され、昨年同時期に比べて解消数が17件増えていますので、日々の家庭訪問の実施や、本人の実態に応じた別室登校の提案など、各校の丁寧な取組が成果として表れていると考えています。

今後も、自己肯定感、自己有用感を高める取組の支援や、「学校が楽しい」と感じる分かりやすい授業づくりの指導、助言、そして、関係機関との適切な連携を図っていきます。

委 員 いじめの報告は、被害者からの申告のみを対象としているのですか。それとも、学校側がいじめではないかと感じたものについても、報告がされるのですか。

指 導 課 長 いじめの報告については、本人から直接申告があったものに加え、月に1回実施しているアンケートにより把握したもの、そして、教員が気がついたものについて、児童生徒との面談を行い、いじめと認知したものを対象としています。

委 員 日立市では、児童生徒が虐待されているという事案はあるのですか。

指 導 課 長 DVやネグレクトについて、関連機関と連携しながら対応している事案が3件ほどあります。

特にネグレクトについては、母親が朝起きず、朝食も用意しないなどに起因して、不登校につながっているとも考えられます。

委 員 いじめ、不登校、虐待については、教育委員会だけでは対応が難しいので、今後も関係機関との綿密な連携を図って、対応していただきたいと思います。

(5) その他

委員長 それでは、その他で、ほかにある方はいますか。

学務課長 平成27年度地域との連携による学校の防災力強化推進事業事例発表会について、説明します。

本事業は、災害が発生したときの被害を最小限に抑えるためには、自然災害を正しく理解し、自らの確な判断の下で行動できるように一人一人が日頃から災害に備えることのほかに、学校と地域が一体となって防災活動に取り組み、地域社会全体の防災力を高めることが不可欠であることから、実施することとなったものです。

県内各教育事務所管内で発表会が開催され、そのうち、県北教育事務所管内では、水木小学校の事例を発表することとなっています。

県北管内の発表会は、平成28年1月27日（水）の午後2時から、日立市ゆうゆう十王Jホールで行われます。

水木小学校の事例発表のほかに、茨城大学工学部都市システム工学科准教授の信岡 尚道氏による防災教育講演会が行われます。

参加対象者は、各学校の教職員、PTA関係者、自治会の会長等となります。

生涯学習課長 2016年日立市成人祝の概要について、説明します。

成人祝は、平成28年1月10日（日）午後1時から、日立シビックセンター新都市広場で実施します。

対象者は、平成7年4月2日から平成8年4月1日までに生まれた方で、住民基本台帳登録者と、参加希望があった登録外の方を合わせ、1,901名となっています。

主催は、新成人34名で組織する2016年日立市成人祝実行委員会です。8月下旬に実行委員会を立ち上げ、準備を進めてきました。

本年度のテーマは、「つなぐ —20年間の感謝を未来へ—」で、20年間の感謝を、未来にどうやって返していくのかということを考えるきっかけとなれば、という思いから設定されたものです。

当日は、来賓として、市長、市議会議長及び教育福祉委員長、教育委員、日立市社会教育委員会議長及び副議長を御招待する予定です。

式典終了後には、アトラクションとして、和太鼓の演奏と、出身中学校ごとの記念撮影を行います。

スポーツ振興課長 第16回日立さくらロードレースの開催について、説明します。

来年度のさくらロードレースは、4月10日（日）に、日立シビックセンター新都市広場で開催され、種目、ルート等は、今年度と

変更ありません。

参加申込みは、1月6日（水）正午から、インターネット又は電話で受け付けることとなっています。

今年度のさくらロードレースは、18,121人の申込みがありました。

来年度も、ぜひ多くの方々に参加いただければと考えています。

指 導 課 長 児童生徒の表彰について、報告します。

まず、広島県安芸郡熊野町が主体となり実施している「第83回全国書画展覧会」書の部において、団体賞として、楡形小学校が文部科学大臣賞を受賞しました。

また、個人賞として、同じく楡形小学校の児童である吉村 柚芭さん（2年生）、根本 美憂さん（2年生）、高橋 美優さん（4年生）の3名が、筆都大賞を受賞しました。

次に、茨城県による「いばらきの魅力再発見事業」の一環として実施されている、平成27年度「だいすき わがまち自慢」作文コンクールについてです。

仲町小学校2年生の市川 珀斗さんの作文「ぼくの町のどうぶつえん」が、茨城県教育長賞を受賞しました。

また、田尻小学校6年生の小幡 蒼空さんの作文「私が伝えたい桜のみ力」も、茨城県新聞教育研究会長賞を受賞しています。

さらに、同事業の「学校ホームページ部門」では、塙山小学校の「はな山大すき！いいところ発見プロジェクト」が、優秀賞を受賞しました。

委 員 楡形小学校が、全国書画展覧会で文部科学大臣賞を受賞したということですが、先程学務課から説明のあった「日立市優秀教職員等褒賞事業」では、褒賞しないのですか。

学 務 課 長 全国書画展覧会の結果が出る時期の事情により、来年度の褒賞対象となります。

委 員 大変すばらしい賞を受賞されましたので、是非、来年度の褒賞対象としていただければと思います。

教 育 長 今後もすばらしい賞を受賞される児童生徒や学校があると思いますので、随時報告していきたいと考えています。

委 員 長 その他で、何かありますか。

指 導 課 長 学校運営協議会制度研修会について、説明します。

当研修会については、昨年度も実施したところですが、今年度も、平成28年1月28日（木）に、日立市消防拠点施設において実施します。

講師には、文部科学省のコミュニティスクールマイスターの方をお願いし、制度の理解啓発を図りたいと考えております。

（6）次回の教育委員会の日程について

委員 長 それでは、次回の教育委員会の日程について、総務課長からお願いいたします。

総務課長 平成28年1月29日（金）に、日立市教育プラザギャラリーB室で午後3時から開会予定です。

5 閉 会 午後4時10分

委員 長 それでは、以上をもちまして、教育委員会12月定例会を終了します。